

建設業における仮設機材に起因する 死傷災害発生状況(29) ～2016年発生 of 各種足場の負傷災害～

一般社団法人 仮設工業会 事務局

はじめに

本会においては、会報「仮設機材マンスリー」の2013年10月号から、下記のとおり建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況を掲載しています。

- (1) 2013年10月号・災害の概要
- (2) 2014年 1月号・2010年・機材センター
- (3) 2014年 2月号・2010年・脚立
- (4) 2014年 3月号・2010年・梯子
- (5) 2014年 4月号・2010年・つり足場
- (6) 2014年 5月号・2010年・移動式足場
- (7) 2014年 7月号・2012年・死亡災害
- (8) 2014年10月号・2011年・機材センター
- (9) 2014年12月号・2011年・枠組足場
- (10) 2015年 1月号・2011年・移動式足場
- (11) 2015年 2月号・2011年・支保工
- (12) 2015年 3月号・2011年・アルミニウム合金製可搬式作業台・高所作業台
- (13) 2015年 9月号・2013年・死亡災害
- (14) 2015年11月号・2012年・機材センター
- (15) 2016年 4月号・2012年・枠組足場

- (16) 2016年 5月号・2014年・死亡災害
- (17) 2016年 9月号・2013年・機材センター
- (18) 2016年10月号・2013年・各種足場
- (19) 2017年10月号・2014年・機材センター
- (20) 2017年11月号・2014年・各種足場
- (21) 2018年 1月号・2014年・足場板
- (22) 2018年 8月号・2015年・機材センター
- (23) 2018年 9月号・2015年・各種足場
- (24) 2018年11月号・2015年・脚立
- (25) 2018年12月号・2015年・死亡災害
- (26) 2019年 1月号・2016年・死亡災害
- (27) 2019年 6月号・2017年・死亡災害
- (28) 2019年 7月号・2016年・機材センター

今回の負傷災害発生状況は、2016年における各種足場に関する負傷災害（足場の種類が特定出来ないものを除く。）を、厚生労働省のデータベース（職場のあんぜんサイト）から抜き出し、仮設工業会事務局において取りまとめたものです。本災害発生事例を参考にして、仮設機材に関する同種災害の再発防止や教育等にお取り組みください。

1 枠組足場関係

NO	負傷災害発生状況（2016年）
1	浄水場建設工場において、枠組足場を下組中2段目作業床にて3段目の先行手摺取付作業時に下から手渡して受け取り振り返ったときに先行手摺が建わくに引っ掛かり、バランスを崩して仰向けに転倒し背中を強打した。
2	資材置場にて雨除けパネルを修理する為、枠組足場を一段組立、上部にて作業中に足を踏み外し1.8m程の高さから転落してふくらはぎを資材に強打した。
3	研修施設新築工事において、看板掲示用枠組足場上で看板を撤去し、下部へ降りようとした際、看板重量のバランスが崩れ足場が倒れそうになったため、とっさの判断で床面に飛び降り、コンクリート床面に右足かかとを強打し右かかとを骨折した。
4	枠組足場で組んだ棚を解体中、建わくの控を取っているパイプが下にいる被災者の頭に落ちて出血した。
5	被災者は電工ドラムを取りに2階へ行こうと、1Fスラブの枠組足場内を歩いて足場昇降階段を探していた。その際、水替えのため水中ポンプを据えてあった釜場に右足を落とし、その反動で左足首をひねり負傷した。
6	研修棟改築工事にて支保工足場を2人1組で解体作業中、一人が建わく上段で解体作業、被災者が下段で解体材の受取を行っていた。上段で作業していた者の腰袋に入れていたラチェットレンチが落ちて、下段で作業していた被災者に当たった。

7	戸建住宅の1階ガレージと家の間で、外壁塗装下地調整ケレン時、軒先の破風板及び軒天下地調整ケレンを片手にスクレーパを持っての作業中、脚立を立てて外部の枠組足場から足場板4mを脚立の天端に渡し、その上で作業をしていた。脚立のぐらつきと足場板の不安定が元で足場板上から下に落下し、左肩を強打し骨折した。
8	工場内にて天井張り工事中、枠組足場一段目の階段に登り、上を向いて天井張りをしていた際、転落した。
9	館入口前スロープ状の土間上で、解体工事用足場材を1トン台車を使用して運搬移動作業中、台車にバンド結束された建柱1束を載せて前方に誘導者1名、後方左2名でスロープを押し引きして反動をつけて押していた。反動をつけて押している間に、入口段差部のコンパネがずれて、車輪が段差に引っ掛かり、建柱だけが前方に押されて台車から滑り落ちた。前方で誘導していた被災者の右足甲に当たり負傷。
10	木造平屋建ての木工事作業中に、建柱と建柱の間に掛け渡した長さ4mの鋼製足場板上で作業中、足場板がたわみながら折れ、バランスを崩し転倒して腰部を打ち負傷した。
11	足場組立工事の荷降ろし作業において、アームロックを両腕に抱えて階段を下り、1段目にさしかかったところで足を躓き、1.5mの位置から枠組足場外へ腰から落下した。
12	建設現場において、事務所棟1階屋根上で、2階北面側の足場を東側から西側へ向け解体作業中、西側（端部）1段目まで来たところ、端部の枠組足場が倒れ、事務所棟西側で雨水排水の配管の繋ぎ込み作業をしていた被災者2名の頭上に落下し被災した。
13	枠組足場上において鉄筋を広げようと引っ張った際、手をすべらせてバランスをくずし、下部へ足から転落し、右足を負傷した。
14	増築作業現場内の外部足場架設工事中、地上から5段目の足場東北端において鳥居枠手摺設置作業を行った際、頭部が足場外側に出てしまい、足場とクレーンが近接していたため北から移動してきた半門型クレーン上部角に接触し、左側頭部を裂傷した。
15	小屋根の袖壁塗装のためにシングル部にビニール養生を行った。安全帯のフックを建柱に掛けて足場上を急いで移動したところ、安全帯のフックを外すのを忘れたため、急に後ろに引っ張られ、後退したと同時に作業床の隙間にかかるとが挟まり勢いよく転倒した。その際、背中を強打し負傷した。
16	中学校のA棟西側の外壁塗装を伴う養生作業中、被災者が庇と枠組足場の間に渡した養生テープにあやまって乗り、持参していた塗装と一緒に高さ約2.5mの所より落下した。
17	民家の平坦な庭先で、2Fテラスの劣化したモルタル壁の撤去が終了し、清掃作業を行っている時、枠組足場を連結している木製足場板2枚重敷作業床で、後ろ向きに清掃をしていたところ、6cmの段差でかかるとが落ちて、バランスを崩し作業床より、転落し、上腕を強打し骨折した。
18	事務所、工場解体現場で作業中、枠組足場から降りる際に踏み外して腰を打撲した。
19	工場内通路で天井付近にあるレール補修作業中、使用していた枠組足場の天板にあった資材を回収して降りる最中に足をすべらし、転倒し、右側後頭部を強打した。

2. 単管足場・くさび緊結式足場関係

NO	負傷災害発生状況（2016年）
1	足場解体作業時、下屋上に掛けた足場を解体するため屋根上にあがり、足場の支柱を両手に持ち、他の作業員が手摺を解体したので、持っていた支柱を他の作業員に手渡すため立ち上がった際に、屋根の上に降っていた霜で足元が滑り、3m下のバルコニースラブの上に右足から転落した。
2	法面に設置していた足場の解体作業中に、解体した単管パイプを番線で束ね、索道を使用して約19m吊り上げた際、吊り荷がばらけて落下し、足場上にいた被災者に当たりその衝撃で足場より落ち、単管パイプといっしょに法面下部の足場まで滑落した。

3	解体現場の足場を設置する作業で単管パイプと大ハンマーで打ちつけていた時、ハンマーがパイプを滑りパイプを固定するために押さえていた左手にハンマーが当たった。大ハンマーで強打した左手の親指を骨折した。
4	住宅解体工事のため、単管足場組立中、2階窓より平屋部分ストレート屋根に上り移動開始と共に波板部分に足を乗せ約3m下に落下負傷した。
5	スポーツクラブ解体工事現場外周部において、外部解体養生を組立て作業中、安全帯を使用していなかったため、バランスを崩した際、足場支柱と共に地上約6mの足場上から地上へ墜落し頭蓋骨及び背骨を骨折した。
6	住宅外壁改修工事現場において、外壁補修のダメ廻り作業中、くさび緊結式足場の4段目から3段目の移動の際、手をすべらせて落下し負傷した。
7	木造2階建て家屋新築工事現場において、外部足場を利用して屋根材料の荷揚げ、移動の作業中、2階上相当の高さの足場単管を使用して右に移動した際に、単管が一部無い場所があることに気付かず、足を踏み出したため、足場の外側に組まれた階段に落下し、右肩甲骨を骨折した。
8	マンション改修工事現場にて、単管一側足場1段目より降りる際、金具に足をかけ損ねて飛び降りるように着地し、歩道に左足を強打した。
9	建物外壁のトップコート塗布作業中、単管抱き足場上から6階ベランダに降りようとしたが、足場からベランダへの昇降設備がなかったため、単管抱き足場に左腕を置いてベランダ手摺下枠に足を掛けて降りようとしたところ、足が滑り体勢を崩した。その拍子に左腕が単管抱き足場の隙間に挟まり、腕に体重が掛かり被災した。
10	住宅外部塗装工事において、くさび緊結式足場を移動中に、足を滑らせバランスを崩し、連結鋼管に左脇腹を強打し負傷した。
11	塗装作業時の足場横移動時に、現場単管足場1段目から足を踏み外してしまい、落下した。その際に、敷地のフェンスにあたり、その反動で外側に投げ出されて、メッシュシートの間隙から7m下の隣の敷地に墜落した。
12	外部くさび緊結式足場の下段約50cmの所から上にあがろうとしたら、仮の木製足場がはずれてブラケットの突起物の部分に右腕が引っかかり、宙吊り状態になり右腕を負傷した。
13	住宅の塗装工事現場で架設足場の解体中に、足場支柱を持ち上げた際、手を滑らせ、左足人差し指に落とし、骨折した。
14	外部足場解体作業において、大払した外部足場材を屋上スラブ上に揚重し、仮置きした際、玉掛けを外レワイヤーを巻き上げる際、介鎖ロープフック部がくさび緊結式足場ブレース手摺部に引っ掛かり、足場材を引っ張る形となって足場材が倒れた。その際、足場上部作業員2名が足場と共に倒れ下部作業員2名が下敷きになり被災した。
15	新築工事現場の足場解体作業において、足場作業員3名で北面の足場を上から解体中、敷地が狭く斜材をつけられず、又、本組ではなく一側足場で組んでいたために、足場材が隣接する駐車場側に倒れ、下で作業をしていた被災者が下敷となる。
16	マンション新築工事現場にて、足場業者が10～12層目外部足場組み立て作業を行うため、くさび式筋交いを足場上に荷揚していた。被災者がダクト配管を加工し終わった資材をロングスパンエレベーターで荷揚中、足場上に置いてあった筋交いがロングスパンEVの昇降の振動により一本落下し、6層目あたりのロングスパンEV内で荷降ろししていた被災者の左背中に直撃した。
17	建造中の船の舵板取付作業後、単管足場を伝って降りる際にパイプに足をかけた時、足が滑ってとっさに右手でパイプをつかもうとしたが、そのパイプが固定されてなく動いて、1.2m下に左足から落下し左足首を捻挫した。
18	コイル搬送ラインにて、ドロップリフター下部フレームに設置してあった単管組立足場を解体する作業を行っていた。単管を固定しているクランプボルトを電動インパクトレンチで緩め、単管を取り外して上部の作業員へ手渡していった。足元にある縦方向の単管を取り外すため足場布板からフレームに移動し、ここでしゃがんだ体勢で片手でインパクトレンチを操作し緩め、もう一方の片手で単管を引き抜こうとした際、足が滑ってフレーム上より転落した。

19	アパート塗り替え工事で使用した仮設足場にて、仮設足場の解体作業で、足場2層目で解体された資材を被災者が地上で受け取る作業を行っていた。長さ3600mm～3700mm、重量約14kgの金属の柱を受け取る時、受け渡しの合図が不十分なために、被災者がもう片方の手を添える時に、風にあおられた支柱が傾きバランスを崩し、掴み損ねて自身の足に落下させた。
20	マンションの改修工事のために設置した足場を撤去していた。上方で作業していた同僚従業員の指示を受けながら足場をばらし始めた時に、被災者が作業時の安全確認を怠り、手元の作業箇所を目視せず、上方の作業員の方を向いたまま1800mmの手摺を左手で持ち、ハンマーを使用し、下から手摺を打ちあげ外そうとした時に、誤って左手第5指を打ち付け、手摺とハンマーに挟まれる形で負傷した。

3 つり足場関係

NO	負傷災害発生状況（2016年）
1	足場組立完成後、前方パネルの組み立て準備を行っていた。被災者A、被災者Bは吊りチェーン用クランプに安全帯のフックを掛けていた。被災者Cは材料を取りに組み上がった足場上を安全帯を外し移動していた。被災者Aの安全帯がねじれていたため、被災者Bが直そうと前方へ移動した。その際、吊りチェーン用クランプが外れ足場が傾き、被災者A、被災者B、被災者Cの3名が足場から転落した。
2	橋梁塗替作業に伴う足場仮設中、作業床吊りチェーンの弛み手直しの際にチェーンが外れて、バランスを崩し、14m下に墜落した。
3	橋撤去に伴う吊り足場の設置作業中、ワイヤー足場材が崩落し、下で材料の受け渡しをしていた被災者が右足首を挟んだ。

4 移動式足場（ローリングタワー）関係

NO	負傷災害発生状況（2016年）
1	ガーターレール塗装剥離作業終了後、作業足場である高さ5.4mのローリングタワー解体中に足場が倒れた。足場の最上部で作業をしており、足場が倒れるとともに投げ出され体を地面に打ち付け負傷した。
2	被災者は、朝から同僚と二人で自動倉庫吹抜け部シャッター金物クリーニングを行い、午前中に3階の作業が終了した。午後、同僚（職長）が職長会議に出席している間に被災者は、一人で2階の作業を開始したが何らかの理由でローリング足場と共に1階土間コンクリート上に墜落した。
3	ホテルの広間で天井のシャンデリアの丸洗い作業をするため、洗剤が飛散しないよう足場に乗り、シャンデリアの周りに養生シートをかける作業を計4名（上部2名、下部2名）でしていた。下部2名が足場を押し動かして移動している際、上部2名が進行方向に偏り、バランスを失い足場が横方向に転倒、上部2名が高さ約4～5mから落下し負傷した。
4	改修工事現場において、高さ198cmの移動式足場の上でコンクリート壁にドリルで穴を開ける作業中、次の作業箇所へ移るため脚立を利用して足場から降りていたところ、脚立上部から2段目で足を踏み外してしまい、バランスが崩れ、脚立ごとコンクリート床面に倒れ、落下の衝撃で受傷した。
5	工場内において、ローリングタワーに乗り、組立機械上部の組立作業をしていた。足場から手を伸ばしたところ、バランスを崩し、2m高の足場から飛び降りた際、ローリングタワー下部にある、高さ調整用ハンドルに膝を強打した。
6	渡り廊下の手摺と給水管の塗装作業を5人で実施していた。2段式キャスター付足場を使用し手摺の外側から2人で作業し、残りの者は手摺の内側で作業をしていた。養生のため、地上に2人いて、足場の上にいる作業員の作業終了の合図があり、2人で足場を動かした時、高い所に重心があるため、ふりがついて上の作業員のバランスが崩れ、転倒した。

5 脚立足場関係

NO	負傷災害発生状況（2016年）
1	掃除をした後、バランスを崩して脚立足場から滑り落ちた。
2	ケアハウス居室の梁型枠解体作業中、単独で脚立足場上で栈木をバールで力を込め、あおりを取り外そうとしたところ、バール先端が栈木よりはずれバランスを崩し転落し、着地の際、左足踵骨を骨折した。
3	現場外壁補修工事で2台の脚立に足場板を架渡し作業中、しゃがみ込んで立ち上がった時バランスをくずし1.7mの高さより墜落し足、腰部を負傷する。
4	工場内にて、3m高の位置へレールを設置する作業のため、伸縮脚立を2台使用し130cm高に設置してあるアルミ足場板へ上ろうとした際、脚立の踏み栈から足を滑らせ落下してしまい負傷した。
5	新築工事現場の上棟時、1F天井の梁に羽子板ボルトを取り付けるために脚立と脚立に木製の足場板を掛けて作業している時に足場板が劣化していたため、折れてそのままバランスを崩し基礎に足から着地してケガをした。
6	ドライヤー室キャンパー内の天井を水拭きする作業のため、2台の脚立をブリッジとした高さ1.2mの固定足場の上に乗っていたが、手元の清掃作業に気を取られ足場の端に気付かずに転落し、左肩及び左骨盤を打撲。
7	屋外厚生棟薬品庫前で脚立2本の間に足場板を置き、その上に乗って厚生棟軒下部の再塗装をしていた際、足場板の端まで来ていることに気付かずに踏み外して落下した。
8	浴室西側吹抜壁面で、セメントボード貼付作業中に、2m脚立の上に3mロングステージを渡した足場の上で、WC側脚立が開ききれない状態で充分な緊結等をせず作業したため、WC側脚立が閉じる事で足場全体がくずれ、落下し、負傷した。
9	左右脚立を立てて足場板を横に渡し、水かけ点検作業後、写真を撮っていた時足場板から足をすべらせ約1m下へ転落し、その際に右手をついて体重がかかってしまい、右手首を骨折した。
10	2Fエントランスホール付近に天井ボード張りのために設置した脚立足場止を通行時、足場板から踏み外したため、高さ約0.95mより転落し、床に左肩を強打し負傷した。
11	アパートの外壁塗装中、塗装のための足場「脚立あゆみ板」で1階を塗装中、バランスをくずし転落。右ひざ打撲、左足骨折した。
12	瓦の白地に釉薬を塗布する工程で、不良品を取り除こうと脚立足場に乗り、作業をし、降りる際に隣にあった施釉タンクのバルブ部分に足をひっかけてしまい、高さ20cmくらいから転倒して大腿骨頸部を骨折した。
13	大浴場にて、浴室天井ボード貼り作業をしている時、バスパネルを作業員3名で持ちながら、順番にパネルの取り付け工事を行っていた。脚立足場を6尺と4尺の脚立を組み合わせ作業床を作っていた。その作業床のうち、一部脚立と足場板の結束がゆるんでいた箇所があり、被災者及び他の作業員もそれに気付かず作業を進めていた。残り4板貼れば完了というところで、脚立から足場板が外れ被災者が転落し、後頭部及び腰を床面で殴打した。
14	住宅の新築工事現場にて1階客間の壁下地打ちの作業中、脚立足場から落下し負傷した。
15	平屋住宅の改修工事現場にて、脚立に足場板を架けた作業床で外壁の下地板を取り付け作業中、作業床から地面に降りるときにバランスをくずし、右肩から地面に落下し負傷した。

6 柵足場

NO	負傷災害発生状況 (2016年)
1	建設現場の軒天井母屋部分柵足場で、作業を行っていた被災者が、午前中の作業が終了し事務所に戻ろうとした際に、高さ1.4mの柵足場から、段差1.1mの建物内の土間コンクリート上に、手摺をくぐり、飛び降りたとき、右足首を強くひねり骨折、同時に尻もちをつき骨盤部他を骨折、負傷した。
2	朝からごみピット上部の照明器具配線作業を行っていた。10時の休憩後、段取り替えのため資材・道具を隣のごみクレーン足場に移動中、ごみクレーン上に設置している柵足場に昇ろうとした際に手足を滑らせ、梯子2段目から墜落し、腰をごみクレーン本体上のレールに打ちつけた。

7 アルミニウム合金製可搬式作業台・高所作業台等

NO	負傷災害発生状況 (2016年)
1	作業台に乗って作業していたが、足場があるものと思い一歩横へ踏み出したところ、足場がなく転落。右側肋骨を強打し、負傷した。
2	空調設備改修工事に関連するシステム天井復旧作業の実施中に、フリーアクセスフロア上に設置した可搬式作業台に被災者が乗った際、脚部が乗っていたフリーアクセスフロア床板が脱落し、可搬式作業台が転倒し、作業台上で作業中の被災者が床へ転落した。転落した際に、左手首部を強打した。
3	新東名高速道路舗装工事現場内、表層工を施工中、可搬式作業台上で金材の温度管理を実施していた。温度測定完了後、可搬式作業台から降りようとしたところ、動き出したダンプトラックのアオリが台に接触し、バランスを失い頭から転落した。
4	モール内店舗の天井塗装のため、高さ約1,800mmの連結用ステージ作業台でパテ作業中、中央端の作業の時その一台の作業台が転倒。転倒した作業台は、欠陥品で2cmほど低く連結用フックが充分に掛かっていなかった。作業員はそれを知らず端での作業中、作業台ごと転倒した。
5	被災者は、改修工事において、可搬式作業台上で天井内配線を3名で行っていた。その位置での作業が終了し、次の作業位置へ移動するため、可搬式作業台を下りようとした時、踏み出した一歩目の左足が踏み板から滑ったので飛び下りた。着地した際に左かかとをコンクリートスラブに強打し受傷した。
6	鉄筋コンクリート造火葬場の新築工事の型枠工事に従事していた。4階立上の食器室にて、高さ1.8mの作業台に載り梁底の型枠を脱型していたところ、取り外した型枠が想定外の位置に落下し、載っていた作業台の脚に衝突したので、作業台が転倒しそうになった。そのため作業台より飛び降りて左足より着地し、左踵を負傷した。
7	工場内で高さ1mの作業台の上に乗って、しゃがんだ姿勢で製品のマーキング作業をしている時に工具を置こうとした際に、バランスを崩し作業台の右側へ落ちた。落ちる時に作業台の角で腰と肋骨を背中から打ち、床に落ちた時に右肩を打った。
8	工場内に於いて、設備を取り付ける台の下面を高さ75cmの踏台に乗りペンキ塗り作業中、足を踏みはずし作業台より落ち、右足膝の内側を打ち負傷した。
9	仮設住宅建設現場で、可搬式作業台に乗り、母家のボルト取付作業中に、ボルト締付時の反動で体勢を崩した。咄嗟に右手で外壁パネル端部を掴んだ際、板金部分で右小指を切創した。
10	寺の境内でイベント用の天幕の設置作業中、高所作業台の上から天幕の修復作業をしている時に、誤って台の上から転落。
11	高所作業台を利用して壁の塗装仕上げを行っていたが塗装箇所を次の場所へ移動するために作業を一旦中止し、昇降口から降りようとした時に手摺を持っていた右手が滑り足場高さ約1mから落下した。